

カテーテルアブレーションの有効性と予後に関する検討

1. 研究の対象

西暦 2015 年 8 月 1 日から西暦 2018 年 6 月 30 日の間にカテーテルアブレーションを受けられた方

2. 研究目的・方法

カテーテルアブレーションによる有効性と予後に関して後方視的調査研究を実施します。カテーテルアブレーションは予後や心機能を改善させ、脳梗塞などの合併症を予防できる治療法であり、その背景などを比較することで、その差に影響する因子が分かれば、より良い治療が行え有益であると考えています。

研究期間：倫理委員会承認日～2021 年 6 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往、手技の内容、検査所見、予後データ 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

担当者：川崎医科大学附属病院 循環器内科学 古山 輝将（研究責任者）

住所：岡山県倉敷市松島 577

TEL：086-462-1111（内線：44372）

電子メール：terumasa.k@med.kawasaki-m.ac.jp

5. 利益相反

本研究は資金を使用しません。

利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。